



創価大学

Discover your potential
自分力の発見

2022年度

学生募集要項

(WEB版)

教育学研究科 教育学専攻

目 次

創価大学大学院の概要・研究科の紹介	(1)
I 入学試験概要	(7)
II-1 入学試験制度 博士前期課程：学内選考試験	(12)
II-2 博士前期課程：一般入学試験	(13)
III 入学試験【共通事項】 博士前期課程	(15)
IV 博士前期課程 [カリキュラム表]	(17)
V-1 入学試験制度 博士後期課程：進学選考試験	(21)
V-2 入学試験制度 博士後期課程：一般入学試験	(22)
VI 入学試験【共通事項】 博士後期課程	(24)
VII 博士後期課程 [カリキュラム表]	(25)
VIII その他	(26)
インターネットによる合否確認	(27)

創価大学大学院の概要

創価大学は、1975年4月に、経済学研究科・法学研究科・文学研究科を開設し、2018年4月に、国際平和学研究科を開設しました。2022年4月には、教育学研究科を開設することとなりました。

各研究科は、学部における教養教育ならびに専門教育を基礎として、さらに広い視野に立って、高度の学術理論を追求することを目的としています。

この大学院から、建学の精神に立脚した優れた研究者が数多く育成され、人類社会に高く貢献することを期待しています。

■建学の精神

人間教育の最高学府たれ

新しき大文化建設の揺籃たれ

人類の平和を守るフォートレス（要塞）たれ

■ブロンズ像の指針

英知を磨くは何のため 君よそれを忘るるな

労苦と使命の中にのみ 人生の価値は生まれる

研究科の紹介

【教育学研究科】

■研究科の概要

教育学研究科教育学専攻においては、人類社会が開発し、蓄積してきた教育学や心理学に関する学術的知識、知的伝統や知恵を、的確に伝授・継承し、さらに発展させることを目標とし、博士前期課程では高度な学術を社会において応用展開できる専門的な職業人、また博士後期課程では新たな視点で斬新かつ独創的な研究を推進する研究者の育成を目指しています。

■設置目的

地球社会が直面する課題、地域社会の課題と真摯に向き合い、平和の実現に果敢に挑戦するため、新たな価値を創造する「世界市民」を育成することが本学の使命であり、平和・環境・開発・人権の分野を中心とした「世界市民教育」に関するプログラムの高度化をはじめ、持続可能な社会を構築するための能力を育む教育研究環境を整えながら、価値創造を実践する世界市民教育の拠点となることを目指しています。また世界に目を向けても、2015年に国連で定められたSDGs（持続可能な開発目標）達成への取組みの中で、世界市民教育を掲げる大学院教育プログラムが世界各国で実践されるようになってきています。

こうした環境の中で上記のような目標を達成するためには、需要を増しつつある世界市民教育等の分野での高度な専門的職業人としての実践家及び新たな学問的価値を創造する研究者の養成が急務であり、「価値創造教育プログラム」の体系化と実践者の育成、「価値創造教育アセスメント・エキスパート」の養成を行う専門機関が必要となりました。

このような状況に鑑み、2022年4月、大学院文学研究科から教育学専攻を分離独立させ、新たに大学院教育学研究科を設置することとしました。

《教育学専攻》

■特色

教育学専修、臨床心理学専修ともに、建学の精神のもとに、未来を拓く世代の健康な発達と、人間尊重の文化の発展に貢献することを目標として、時代のニーズに適切に応える教育の在り方について研究、教授しています。

<教育学専修>

■領域／研究・教育の内容

激しい変動の中で、人間をめぐる問題の解決が困難さを増している社会の状況に対応して、基礎的普遍的な教育理論上の探求をベースにおきながら、研究、指導の体制を整えています。基礎的研究領域として教育史、教育社会学、教育心理学などが、さらに応用的研究領域として教育行政学・教育工学・教科教育学などがあります。

■教育方法／指導カリキュラムの特色

院生の希望と関心に応じて、将来の進路を考慮しながら個別的にきめ細かく指導することを基本としています。指導上、研究者、専門的職業人としての資質を高めることをめざして専門分野の知識にとどまらず、研究方法、研究成果の発表方法を確実に習得するように配慮します。また研究の対象が教育であることを考慮し、専門分野に埋没することなく広い視野をもつよう関連する領域の学問内容にも触れるよう指導します。

専修領域の学問内容を理解し、さらに発展させることができるように研究指導上のカリキュラムが組まれます。理論研究・歴史的研究・実証研究・実験研究が深められ、学問研究への意欲が高まるように適切なカリキュラムが用意されます。具体的なカリキュラム構成としては、必修科目として「基礎科目」（研究倫理、教育学研究法、教育学原典購読）、「演習（研究指導）」、および選択科目として各専門科目の特論を配置しています。人間のあり方・生き方と教育のあり方との関係が鮮明に理解できるように専修ごとにユニークなカリキュラムが作られています。

<臨床心理学専修>

■領域/研究・教育の内容

臨床心理士および公認心理師の養成を主な目的とするコースで、本学は、2003年（平成15年）4月に財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定校になりました。また、2020年度より公認心理師資格試験受験に必要な科目を開講しています。博士前期課程修了後、その年の秋の臨床心理士資格試験を受験することができます。カリキュラムは別添の開講科目一覧表の通りで、講義、演習、実習科目から構成されています。臨床心理士資格取得の受験のためには「必修科目」25単位（修士論文を含む）、「選択必修科目」10単位以上（A～E群各2単位以上）履修する必要があります。公認心理師資格試験受験のためには、本学が指定する「公認心理師」の受験資格取得に必要な科目（22科目39単位）を全て履修する必要があります。スタッフは、2022年（令和4年）4月現在、本専修の専任教員5名（全員臨床心理士および公認心理師有資格者）、非常勤講師8名及び学内実習施設の心理教育相談室非常勤相談員3名（全員臨床心理士および公認心理師有資格者）から成っています。

将来「臨床心理士」および「公認心理師」として、医療・教育・福祉・司法・産業等の分野で、精神的失調や適応上の問題を抱える子供・青年・成人・家族等への臨床心理的援助、並びに、人々がより良く生きてゆけるためのカウンセリングなどに従事し、社会に貢献できる人材の養成を目的としています。

臨床心理士および公認心理師の養成は、本学の教育理念である「人間教育」に合致します。本学の学生は、総じて真面目で向学心に優れており、社会や他者のために、専門家として力を尽くしたいとの意欲や使命感を強く持っています。そうした数多くの要望により本コースが設置されました。

なお、公認心理師資格の受験資格を得るためには、学部（他大学でも可）において法に定められた科目を全て修得し、卒業していることが必要です。臨床心理士資格の取得のみを目指す場合は、その限りではありません。専任教員の実践・研究領域として、青年心理、不登校等の学校臨床、発達臨床、カウンセリングスキルならびにアサーション、精神医学などがあげられます。院生は特にこれらの領域の課題教育や研究指導が期待できると思います。

■教育方法/指導カリキュラムの特色

臨床心理学特論演習（ゼミ）は、院生が1年次に希望した専任教員と共に2年間行われます。1教員あたり院生は2～3名です。院生が関心のある研究課題に取り組み、研究を進め、論文にまとめていく過程を共にします。

そのほかに、2年次からは、臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ（心理実践実習Ⅱ、Ⅲ）として学外実習（病院実習、教育分野実習）と学内実習（大学付属心理教育相談室）がそれぞれ週1日、半期ずつ実施されます。病院実習では精神科の医療施設において、教育分野実習では、不登校の児童生徒の支援施設である適応指導教室において心理支援の実際を体験し、施設の実習指導者から種々の指導を受けます。

心理教育相談室実習は来室する個人、親子、家族等に専任教員や非常勤相談員（以下、臨床心理スタッフ）が受理面接を行い、その後、臨床心理スタッフの指導を受けながら院生が来談者の心理面接や遊戯療法などを担当します。実習に関わる様々な疑問や問題については臨床心理スタッフによる個別のスーパービジョンやカンファランスで事例ごとに検討が行われ、同時にオフィスアワーも活用しつつ、院生はきめ細かいサポートを受けながら実習を積み重ねていきます。

教育目標および「三つの方針」

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

教育学研究科

【教育学専攻】

教育学専攻は、「教育学専修」と「臨床心理学専修」で構成されます。

「教育学専修」は、激しく変動する社会の中で、教育理論上の探究をベースとして人間をめぐる諸問題の解決を目指し、博士前期および後期課程を置いています。

「臨床心理学専修」は、臨床心理士および公認心理師として現場で活躍できる人材の養成を主な目的とする博士前期課程のコースです。

本学は日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定校になっています。修了後は臨床心理士資格試験を受験することが出来ます。また、公認心理師に必要な科目も開講されており、すでに他大学で公認心理師に必要な科目全てを履修している場合は、大学院で必要な科目全てを履修し、大学院を修了した後、公認心理師資格試験を受験することができます。

■ ディプロマ・ポリシー

【修士】

教育学専攻博士前期課程では、養成する人材像を踏まえ、基礎的な能力と広範な識見を培い、高度な専門的職業人としての実践力を身につけることを目指す。本専攻の定める修了要件に加え、以下の能力や学識の修得を求め、学位授与の要件を満たす者に修士（教育学）を授与する。

- 1) 教育学と心理学に関する専門的な知識・技能と思考力を有している。
- 2) 教育学と心理学の研究方法を理解し、目的に応じて適切に実施できる。
- 3) 世界の諸問題について、教育学的・心理学的見地から理解し、多様な観点から、主体的かつ協調的に問題解決できる。

【博士】

教育学専攻博士後期課程では、養成する人材像を踏まえ、高度な研究者としての能力を身につけることを目指す。本専攻の定める修了要件に加え、以下の能力や学識の修得を求め、学位授与の要件を満たす者に博士（教育学）を授与する。

- 1) 教育学と心理学に関する高度な専門的知識・技能と深い思考力を有している。

- 2) 教育学と心理学の研究方法を深く理解し、目的に応じて適切に実施できる。
- 3) 世界の諸問題について、教育学・心理学的見地から分析し、独創的な観点から、主体的かつ協調的に問題を解決できる。

■ カリキュラム・ポリシー

【博士前期課程】

教育学研究科博士前期課程のディプロマ・ポリシーに基づき、専門的職業人としての高い資質を備えた人材を育成するため、以下のカリキュラム・ポリシーに基づいて教育課程を編成・実施する。

- 1) 知識基盤社会において必要な学問知識を学ぶことができるよう、教育学、教科教育、心理学、臨床心理学に関する幅広い科目を配置する。
- 2) 教育学の理論を実践する高度な専門的職業人、臨床心理士・公認心理師を養成するために、教育学や臨床心理学の幅広い知識・技能と実践的能力の習得を目指す。
- 3) 博士前期課程の学修成果として、修士論文またはリサーチペーパーを作成する。

【博士後期課程】

教育学研究科博士後期課程のディプロマ・ポリシーに基づき、新たな知見と知恵を開発・創造する高度な能力をもった研究者を養成するため、以下のカリキュラム・ポリシーに基づいて、体系的な教育カリキュラムと組織的な教育・研究指導体制を構築・実践する。

- 1) 狭い研究分野に限らず、教育学・心理学全般に関して俯瞰的にものを見る目を養う。
- 2) 自らテーマを設定し、深く考え、追求する能力を養成する。
- 3) 博士後期課程の学修成果として、博士論文を作成する。

■ アドミッション・ポリシー

【博士前期課程】

教育学研究科博士前期課程のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに則って、本研究科の教育理念・目的を理解し、教育学・臨床心理学に関する学部レベルの基礎的な学習能力を備えた学生を選抜するため、学生の学力や人間力を総合的に評価できる入学試験を実施する。

具体的には、以下の基本方針に基づき、入学試験を行う。

- 1) 入学願書の志望理由によって、受験者の知識、主体性、計画力、表現力を測定する。
- 2) 推薦書によって、受験者の人間性、主体性、協調性を測定する。
- 3) 筆記試験（外国語と専門科目（教育学専修：教育学、臨床心理学専修：心理学〔臨床心理学・発達心理学・教育心理学〕）を通して、受験者の専門的知識・技能と思考力、表現力、問題解決力を測定する。
- 4) 面接を通して、受験者の知識、表現力、創造力、協調性を測定する。

【博士後期課程】

教育学研究科博士後期課程のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに則って、教育学・臨床心理学に関する修士レベルの学問的知識と研究を遂行する資質を備えた学生を選抜するため、学生の

学力や人間力を総合的に評価できる入学試験を実施する。

具体的には、以下の基本方針に基づき、入学試験を行う。

- 1) 進学願によって、受験者の主体性、表現力、独創性を測定する。
- 2) 推薦書によって、受験者の研究力、独創性、協調性を測定する。
- 3) 筆記試験（英語）を通して、受験者の思考力、表現力を測定する。
- 4) 口頭試問を通して、受験者の専門的知識、研究力、独創性、表現力を測定する。

I 入学試験概要

1. 募集研究科・専攻・募集定員

研究科	専攻	募集定員	
		博士前期／修士課程	博士後期課程
教育学研究科	教育学専攻	15名	2名

※ 上記の募集定員は、学内選考・一般・外国人学生等の入試制度を合わせた全体の募集人数です。

2. 入学試験日程

【博士前期／修士課程】＜2022年春学期（4月）入学入試日程＞

入試制度	出願期間	選考試験日	合格発表日	手続期間	
				第1次	第2次
一般（第Ⅰ期） 学内選考	2021年 7月29日(木) ～8月19日(木)	2021年 9月25日 (土)	2021年 10月1日 (金) 11:00	2021年 10月8日(金)～ 15日(金)	2022年 2月23日(水) ～3月2日(水)
一般（第Ⅲ期）	2021年 11月22日(月) ～12月22日(水)	2022年 2月11日 (金)	2022年 2月18日 (金) 11:00	2022年 2月23日(水) ～3月2日(水)	

【博士後期課程】＜2022年春学期（4月）入学入試日程＞

入試制度	出願期間	選考試験日	合格発表日	手続期間
進学選考 一般	2021年 11月22日(月) ～12月22日(水)	2022年 2月11日(金)	2022年 2月18日(金) 11:00	2022年 2月23日(水) ～3月2日(水)

3. 出願の流れ・方法

STEP1

以下のリンクより出願書類をダウンロード

<https://www.soka.ac.jp/admissions/exam-info/graduate/bunkei/updated>

STEP2

出願書類への記入と必要書類を用意

各研究科によって必要な書類が一部異なりますので、詳細は「Ⅲ学内選考・一般入学試験【共通事項】」をご確認ください。

STEP3

受験料(33,000円)の支払い

以下のリンクより、クレジットカードによる支払いが可能です。

https://payment.soka.ac.jp/graduate1/application_fee.php



STEP4

WEB 出願フォーム(Google Form)の提出

以下のリンクよりウェブ出願フォームにアクセスしてください。*Google アカウントの取得が必要となります。

- 春学期(4月)入学用: <https://forms.gle/4x2e4den1yNmdCBF7>

STEP5

出願書類をすべて郵送または窓口にて提出

郵送の場合は、出願期間中に本学に到着するよう書留郵便で送って下さい。

窓口提出の場合は、窓口受付日をご確認ください。

- 郵送先住所：〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

創価大学 学事部学事第2課大学院係 宛 (TEL:042-691-9423)

- 窓口受付時間：午前9時半～午後4時 (中央教育棟 1階学事部学事第2課大学院係)

※12月下旬～1月上旬の冬季休業期間中は、窓口受付ができませんのでご注意ください。

(休業日程の詳細は電話でお問い合わせ下さい)

4. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類のうち、一ヶ所でも不足または不備がある場合には、受け付けませんので必ず確認して提出して下さい。
- (2) 出願書類を提出した後の研究科・専攻の志望の変更は認めません。
- (3) 締め切り後は、いかなる理由があっても受け付けません。
- (4) 一度提出した書類及び支払った検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (5) 全ての書類の原本は、郵送または窓口で提出される必要があります。WEB 出願フォームの提出だけでは、出願は完了しませんのでご注意ください。
- (6) 滞在地域によっては、WEB 出願フォーム (Google フォーム) へアクセスできない場合があります。該当する方は事務局 (gsoffice@soka.ac.jp) へ事前にご連絡ください。
- (7) 出願書類が受け付けられると、後日登録されたメールアドレス宛に受験票が PDF 形式で送付されます。受験当日に各自印刷をしてお持ちください。
- (8) 大学院入試係より郵送書類の到着連絡は行いません。各自、追跡可能郵便 (簡易書留等) をご利用いただき、各郵便局等に到着有無を直接ご確認ください。

5. 試験会場

創価大学

※試験開始 20 分前までに試験会場に集合して下さい。

※オンライン面接の場合は 5 分前までに指定されたビデオ会議システムへのログインをお願いします。

(試験会場の教室等は、別途メールにて通知致します)

6. 合格発表

- (1) 合格者は、合格発表日の午前 11 時に本学大学院の掲示板にて発表します。
- (2) インターネット (携帯電話・スマートフォン・パソコン) による合否案内も行っております。詳細は以下のリンクをご確認ください。
https://www.soka.ac.jp/files/ja/20210108_181720.pdf
- (3) 国内在住の合格者には、「合格通知書・入学案内手続き」を発表日翌日に郵送致します。海外在住者には後日、メール等にて各種ご案内をお送り致します。
- (4) 合否に関する、電話・郵便での問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続

合格者は、所定の期間内に入学手続・納入をして下さい。ただし詳細については、合格発表の際に文書で通知します。

【博士前期課程】

入学手続は、2回に分けて行います。

(1) 第1次入学手続（入学金の納入）

入学金 納入額	対 象 者
100,000 円	本学学部卒業者、本学別科修了者及び本学通信教育部の卒業生及び本学情報システム先端技術講座修了生
200,000 円	上記以外

(2021 年度参考額)

(2) 第2次入学手続（学費等の納入及び入学手続書類の提出）

第2次手続書類は、第1次手続完了者に対して、2月(秋学期入学は7月)に郵送します。ただし、一般入学試験(第Ⅱ期、Ⅲ期)、特別学内選考試験(1月、2月実施)の合格者については、第1次手続と同時になります。

<春学期(4月)入学第2次手続期間納入金額>

項 目	一括払い	2回分割払い	
	入学手続時 (年間学費)	入学手続時 (半年分学費)	秋学期納入時 (半年分学費)
授 業 料	460,000 円	230,000 円	230,000 円
在 籍 料	60,000 円	30,000 円	30,000 円
教 育 充 実 費	100,000 円	50,000 円	50,000 円
合 計	620,000 円	310,000 円	310,000 円

(2021 年度参考額)

※臨床心理学専修の学費は、上記金額に「実習費」として年額100,000円(分割の場合各回50,000円)が加算されます。

【博士後期課程】

入学金、学費等の納入及び入学手続書類の提出を一括して行います。

項 目	納 入 額	対 象 者
入 学 金	免 除	本学博士前期／修士課程修了者
	200,000 円	上記以外

(2021 年度参考額)

項 目	一括払い	2 回分割払い	
	入学手続時 (年間学費)	入学手続時 (半年分学費)	秋学期納入時 (半年分学費)
授 業 料	350,000 円	175,000 円	175,000 円
在 籍 料	60,000 円	30,000 円	30,000 円
教 育 充 実 費	100,000 円	50,000 円	50,000 円
合 計	510,000 円	255,000 円	255,000 円

(2021 年度参考額)

【共通の注意事項】

- ① 納入期間内に手続を行わない場合は、合格を取り消します。
- ② 授業料等は、手続期間内に必ず完納して下さい。春学期入学の場合の納入回数は、1 回払い（入学手続時に年間学費の一括納入）又は、2 回分割払い（春学期半年分・秋学期半年分の分割納入）が選択できます。秋学期入学の場合の納入回数は、半年分の学費の 1 回払いのみです。
- ③ 入学手続後、事情により入学を辞退する場合があっても入学金は返還しません。事情により入学を辞退する場合は、入学金を除く授業料等を返還します。但し、入学式の前日までに届け出のあった場合に限りです。
- ④ 合格者は、日本学生支援機構予約奨学生に出願することができます（留学生と 1 月以降実施の入学試験合格者は除く）。

Ⅱ-1 <入学試験制度> 博士前期課程：学内選考試験

1. 出願資格

- (1) 本学学生（外国人学生を含む）で、2021年度卒業見込の者。
- (2) 本学通信教育課程の学生で、2021年度卒業見込の者。
- (3) 2021年度に本学学部研究生に登録中の者。

2. 日程一覧

試験日	2021年9月25日（土）
出願期間	2021年7月29日（木）～8月19日（木）
合格発表	2021年10月1日（金） 11:00
第1次手続期間	2021年10月8日（金）～10月15日（金）
第2次手続期間	2022年2月23日（水）～3月2日（水）

3. その他

出願書類、選考試験科目等については、「Ⅲ 入学試験【共通事項】博士前期／修士課程」を参照して下さい。

Ⅱ-2 <入学試験制度> 博士前期課程：一般入学試験

一般入学試験は、第Ⅰ期～第Ⅲ期にわたって実施しています。それぞれ対象が異なりますので、次頁で確認してください。

1. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者、または 2021 年度卒業見込みの者（秋学期入試出願者は、2022 年 8 月末までに卒業見込みの者）。
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者。
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了または 2021 年度修了見込みの者（秋学期入試出願者は、2022 年 8 月末までに修了見込みの者）。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。
- (8) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、当該研究科委員会において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。
- (9) 当該研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022 年 3 月で 22 歳に達した者。

※(4)から(9)の資格により出願を希望する者について

- ①出願時に資格審査を行います。
- ②所定の出願書類に加えて「出願資格認定申請書」（G 票）、「出願資格認定申請理由書」（H 票）を提出して下さい。

※出願ができる外国人受験者の定義について

- ①日本国籍を有しない者であって、かつ、日本国における永住資格を有しない者。
- ②出入国管理及び難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格を有する者。

2. 日程一覧

< 2022年春学期（4月）入学入試日程 >

【一般入学試験 春学期（4月）入学 第Ⅰ期】

試験日	2021年9月25日(土)
出願期間	2021年7月29日(木)～8月19日(木)
合格発表	2021年10月1日(金) 11:00
第1次手続期間	2021年10月8日(金)～10月15日(金)
第2次手続期間	2022年2月23日(水)～3月2日(水)

【一般入学試験 春学期（4月）入学 第Ⅲ期】

試験日	2022年2月11日(金)
出願期間	2021年11月22日(月)～2021年12月22日(水)
合格発表	2022年2月18日(金) 11:00
手続期間	2022年2月23日(水)～3月2日(水)

3. その他

出願書類、選考試験科目等については、「Ⅲ 入学試験【共通事項】博士前期課程」を参照して下さい。

Ⅲ 学内選考・一般入学試験 【共通事項】 博士前期課程

1. 出願書類・検定料

※本学所定の出願書類については、文系大学院ホームページ「文系大学院 入試情報」→「出願書類」からプリントアウトすること。

(1) 入学願書	本学所定の用紙（A票①②・B票）を使用すること。
(2) 成績証明書	出身大学で申請すること。
(3) 卒業（見込）証明書 ※学士の証明を含むこと	出身大学で申請すること。
(4) 検定料	33,000 円。 クレジットカードで支払いをすること。 確認時に送付されるメールを印刷して、出願時に提出すること。
(5) その他	本学別科修了生・在学生については、別科修了証明書もしくは別科修了見込証明書を提出すること。

※ 出願書類の記入方法について

A票②の「修士論文題目」の欄は未記入で結構です。

入学願書（A票①）の「受験科目」の欄は、受験する科目名（選択の場合は、選択する科目名）を記入してください。

※ 受験票は後日メールで送付いたします。各自 A4 サイズに印刷して、筆記試験・面接試験当日にお持ち下さい。

2. 選考試験科目・時間帯

●文学研究科 教育学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
教育学専修	外国語	—	英語（辞書を貸与する）	10：30～ 12：00
	専門科目	—	教育学	13：00～ 14：30
	面接	—	面接	15：00～
臨床心理学 専修	外国語	—	英語（辞書を貸与する）	10：30～ 12：00
	専門科目	—	臨床・発達・教育心理学	13：00～ 14：30
	面接	—	面接	15：30～

※ 外国人には、外国語の試験を課さない。

※ 臨床心理学専修を受験する者は、学部の人に心理学系の科目を履修しておくことが望ましい。

※ 教育学専修を受験する社会人には外国語の試験を課さない。（社会人の定義：出願の段階で、4年生大学卒業後満4年以上経過している人）

※ 臨床心理学専修を受験する社会人には、外国語を課さない。（社会人の定義：出願の段階で、4年生大学卒業後満5年以上経過している人。ただし、卒業後5年未満であっても、27歳以上で職歴が5年以上ある人が、所定の出願書類に加えて、[出願資格認定申請書](G票)、[出願資格認定申請理由書](H票)を提出した場合、書類審査の後に「社会人」として認める場合がある）

IV 博士前期課程 [カリキュラム表]

【教育学研究科教育学専攻】（博士前期課程）

≪教育学専修≫ ●修士論文作成者：「修論作成者」 ●リサーチペーパー作成者：「RP作成者」

分類	部門	科目名	科目ナンバリング	単位	履修年次				修了要件	備考
					M1春	M1秋	M2春	M2秋		
必修科目	基礎科目	研究倫理	HEED501	1	○				3科目5単位	
		教育学研究法	HEED502	2		○				
		教育学原典講読	HEED503	2	○					
	演習 (研究指導)	教育学演習Ⅰa	HEED504	2	○				6科目12単位	
		教育学演習Ⅰb	HEED505	2	○					
		教育学演習Ⅱa	HEED506	2		○				
		教育学演習Ⅱb	HEED507	2		○				
		教育学演習Ⅲa	HEED601	2			○			
	教育学演習Ⅳa	HEED602	2				○			
選択科目	専門科目	教育方法学特論Ⅰ	HEED508	2	○		(○)		【修論作成者】 7科目14単位	(原則としてⅠは 春学期、Ⅱは秋学 期に開講)
		教育方法学特論Ⅱ	HEED509	2		○		(○)		
		教育工学特論Ⅰ	HEED510	2	○		(○)			
		教育工学特論Ⅱ	HEED511	2		○		(○)		
		教育社会学特論Ⅰ	HEED512	2	○		(○)			
		教育社会学特論Ⅱ	HEED513	2		○		(○)		
		教育行政学特論Ⅰ	HEED514	2	○		(○)			
		教育行政学特論Ⅱ	HEED515	2		○		(○)		
		教育評価特論Ⅰ	HEED516	2	○		(○)		【RP作成者(2本)】 7科目14単位	
		教育評価特論Ⅱ	HEED517	2		○		(○)		
		教育心理学特論Ⅰ	HEED518	2	○		(○)		【RP作成者(1本)】 8科目16単位	
		教育心理学特論Ⅱ	HEED519	2		○		(○)		
		教科教育学特論Ⅰ(数学教育論)	HEED520	2	○		(○)			
		教科教育学特論Ⅱ(数学教育論)	HEED521	2		○		(○)		
		教科教育学特論Ⅰ(社会科教育論)	HEED522	2	○		(○)			
		教科教育学特論Ⅱ(社会科教育論)	HEED523	2		○		(○)		
		日本教育思想史特論Ⅰ	HEED524	2	○		(○)			
		日本教育思想史特論Ⅱ	HEED525	2		○		(○)		
		教育史資料特論Ⅰ	HEED526	2	○		(○)			
		教育史資料特論Ⅱ	HEED527	2		○		(○)		
		情報教育特論	HEED528	2		○		(○)		
		学校心理学特論	HEED529	2		○		(○)		
		教育学演習Ⅲb	HEED603	2			○			
教育学演習Ⅳb	HEED604	2				○				

※教育学専攻の修了要件(教育学専修)

- 修論作成者：「基礎科目3科目5単位」「演習6科目12単位」「選択科目7科目14単位」
- RP作成者(RPを2本作成する場合)：「基礎科目3科目5単位」「演習6科目12単位」「選択科目7科目14単位」
- RP作成者(RPを1本作成する場合)：「基礎科目3科目5単位」「演習6科目12単位」「選択科目8科目16単位」

【教育学研究科教育学専攻】（博士前期課程）

≪臨床心理学専修≫

分類	部門	科目名	科目ナンバリング	単位	制限 など	履修年次				修了要件	【公認心理師】 受験資格取得 に必要な科目	【臨床心理士】 受験資格取得 に必要な科目	備考	
						M1春	M1秋	M2春	M2秋					
必修科目	基礎科目 演習 (研究指導)	研究倫理	HECP501	1		○				5科目9単位	—	—		
		臨床心理学特論演習Ⅰ—1	HECP502	2	◆	○					◎	◎		
		臨床心理学特論演習Ⅱ—1	HECP503	2	◆		○				◎	◎		
		臨床心理学特論演習Ⅰ—2	HECP601	2	◆			○			◎	◎		
		臨床心理学特論演習Ⅱ—2	HECP602	2	◆				○		◎	◎		
選択必修科目	専門科目	臨床心理学特論Ⅰ	HECP504	2	◆	○				12科目24単位以上	*	◎		
		臨床心理学特論Ⅱ	HECP505	2	◆		○				*	◎		
		臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践Ⅰ）	HECP506	2	◆	○					◎	◎		
		臨床心理面接特論Ⅱ（心理支援に関する理論と実践Ⅱ）	HECP507	2	◆		○				◎	◎		
		臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践Ⅰ）	HECP508	2	◆	○					◎	◎		
		臨床心理査定演習Ⅱ（心理的アセスメントに関する理論と実践Ⅱ）	HECP509	2	◆		○				◎	◎		
		心理統計法特論	HECP510	2		○		(○)			—	○		A群 (臨床心理士選択科目)
		心理学研究法特論	HECP511	2		○		(○)			—	○		
		認知心理学特論	HECP512	2		○		(○)			—	○		B群 (臨床心理士選択科目)
		発達心理学特論	HECP513	2		○		(○)			—	○		
		家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	HECP514	2	★	○		(○)			◎	○		C群 (臨床心理士選択科目)
		犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	HECP515	2		○		(○)			◎	○		
		精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	HECP516	2	◆		○		(○)		◎	○		D群 (臨床心理士選択科目)
		障害児心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	HECP517	2			○		(○)		◎	○		
		投映法特論Ⅰ	HECP518	2	◆	○		(○)			—	○		E群 (臨床心理士選択科目)
	投映法特論Ⅱ	HECP519	2	◆		○		(○)	—	○				
	病院臨床心理学特論	HECP520	2	◆		○		(○)	—	○				
	精神分析特論	HECP521	2	◆	○		(○)		—	○				
	学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	HECP522	2		○		(○)		◎	—				
	心の健康教育に関する理論と実践	HECP523	2	★		○		(○)	◎	—				
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	HECP524	2	◆★		○		(○)	◎	—				
臨床心理基礎実習Ⅰ	HECP525	1	◆	○				*	◎					
実習科目	臨床心理基礎実習Ⅱ	HECP526	1	◆		○			*	◎				
	心理実践実習Ⅰ	HECP527	1	◆		○			◎	*				
	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）	HECP603	1	◆			○		◎	◎				
	臨床心理実習Ⅱ（心理実践実習Ⅲ）	HECP604	1	◆				○	◎	◎				
	心理面接実践実習Ⅰ	HECP605	1	◆			○		*	*				
	心理面接実践実習Ⅱ	HECP606	1	◆				○	*	*				

※『臨床心理士』の受験資格について

「◎印」は必ず履修すること。「○印」はA～E群から各2単位以上、計10単位以上を履修すること。E群の「投映法特論Ⅰ・Ⅱ」を履修する場合は、Ⅰ・Ⅱともに履修し、計4単位を修得すること。「*印」は資格取得指定科目ではないが基礎的な科目であるため必ず履修すること。

※『公認心理師』の受験資格について

「◎印」は必ず履修すること。「*印」は資格取得指定科目ではないが基礎的な科目であるため必ず履修すること。

<注意>

「◆印」：臨床心理学専修以外の学生の履修は不可

「★印」：隔年開講科目

臨床心理士の受験資格取得に必要な科目

科目分類	部門	科目名	単位	履修年次				受験資格取得要件	備考
				M1春	M1秋	M2春	M2秋		
必修科目		臨床心理学特論演習Ⅰ－1	2	○				15科目25単位	
		臨床心理学特論演習Ⅱ－1	2		○				
		臨床心理学特論演習Ⅰ－2	2			○			
		臨床心理学特論演習Ⅱ－2	2				○		
		臨床心理学特論Ⅰ	2	○					
		臨床心理学特論Ⅱ	2		○				
		臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践Ⅰ）	2	○					
		臨床心理面接特論Ⅱ（心理支援に関する理論と実践Ⅱ）	2		○				
		臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践Ⅰ）	2	○					
		臨床心理査定演習Ⅱ（心理的アセスメントに関する理論と実践Ⅱ）	2		○				
		臨床心理基礎実習Ⅰ	1	○					
		臨床心理基礎実習Ⅱ	1		○				
		心理実践実習Ⅰ	1		○				
		臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）	1			○			
		臨床心理実習Ⅱ（心理実践実習Ⅲ）	1				○		
選択必修科目	A群	心理統計法特論	2	○		(○)	5科目10単位以上 ※A～E群から各2単位以上、計10単位以上を履修すること。	E群「投映法特論Ⅰ・Ⅱ」を履修する場合は、Ⅰ・Ⅱともに履修し、計4単位を修得すること。	
		心理学研究法特論	2	○		(○)			
	B群	認知心理学特論	2	○		(○)			
		発達心理学特論	2	○		(○)			
	C群	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	○		(○)			
		犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2	○		(○)			
	D群	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2		○	(○)			
		障害児心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2		○	(○)			
	E群	投映法特論Ⅰ	2	○		(○)			
		投映法特論Ⅱ	2		○	(○)			
		病院臨床心理学特論	2		○	(○)			
		精神分析特論	2	○		(○)			

公認心理師の受験資格取得に必要な科目

No.	大学院における必要な科目名	含まれる事項	本学における科目名	単位	履修年次				受験資格取得要件
					M1春	M1秋	M2春	M2秋	
1	保健医療分野に関する理論と支援の展開	①保健医療分野に関わる公認心理師の実践	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2		○		(○)	22科目39単位
2	福祉分野に関する理論と支援の展開	①福祉分野に関わる公認心理師の実践	障害児心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2		○		(○)	
3	教育分野に関する理論と支援の展開	①教育分野に関わる公認心理師の実践	学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2	○			(○)	
4	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	①司法・犯罪分野に関わる公認心理師の実践	犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2	○			(○)	
5	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	①産業・労働分野に関わる公認心理師の実践	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2		○		(○)	
6	心理的アセスメントに関する理論と実践	①公認心理師の実践における心理的アセスメントの意義 ②心理的アセスメントに関する理論と方法 ③心理に関する相談、助言、指導等への上記①及び②の応用	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践Ⅰ）	2	○				
			臨床心理査定演習Ⅱ（心理的アセスメントに関する理論と実践Ⅱ）	2		○			
7	心理支援に関する理論と実践	①力動論に基づく心理療法の理論と方法 ②行動論・認知論に基づく心理療法の理論と方法 ③その他の心理療法の理論と方法 ④心理に関する相談、助言、指導等への上記①から③までの応用 ⑤心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践Ⅰ）	2	○				
			臨床心理面接特論Ⅱ（心理支援に関する理論と実践Ⅱ）	2		○			
8	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	①家族関係等集団の関係性に焦点を当てた心理支援の理論と方法 ②地域社会や集団・組織に働きかける心理学的援助に関する理論と方法 ③心理に関する相談、助言、指導等への上記①及び②の応用	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	○			(○)	
9	心の健康教育に関する理論と実践	①心の健康教育に関する理論 ②心の健康教育に関する実践	心の健康教育に関する理論と実践	2		○		(○)	
10	心理実践実習		心理実践実習Ⅰ	1		○			
			臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）	1			○		
			臨床心理実習Ⅱ（心理実践実習Ⅲ）	1				○	
本学指定科目			臨床心理学特論演習Ⅰ－1	2	○				
			臨床心理学特論演習Ⅱ－1	2		○			
			臨床心理学特論演習Ⅰ－2	2			○		
			臨床心理学特論演習Ⅱ－2	2				○	
			臨床心理学特論Ⅰ	2	○				
			臨床心理学特論Ⅱ	2		○			
			臨床心理基礎実習Ⅰ	1	○				
			臨床心理基礎実習Ⅱ	1		○			

V-1 <入学試験制度> 博士後期課程：進学選考試験

1. 出願資格

本学大学院文学研究科教育学専攻博士前期課程を2021年度修了または修了見込の者で、教育学研究科教育学専攻の後期課程に進学を希望する者。

*大学院での学業成績が、GPA 3.3以上で、2022年3月修了見込の者。ただし、2021年9月に修了する者については出願を許可する。

2. 日程一覧

試験日	2022年2月11日(金)
出願期間	2021年11月22日(月)～2021年12月22日(水)
合格発表	2022年2月18日(金) 11:00
手続期間	2022年2月23日(水)～3月2日(水)

3. 出願書類・選考料

※本学所定の出願書類については、文系大学院ホームページ「入試情報」→「出願書類」からプリントアウトすること。

(1)入学願書(筆記試験受験者のみ)	本学所定の用紙(A票①②・B票)を使用すること。
(2)推薦書(任意提出)	本学所定の用紙(F票)を使用すること。 指導教授が作成したもの(厳封して下さい)
(3)進学願	本学所定の用紙(I票)を使用すること。
(4)成績証明書(学部)	学部の成績証明書。
(5)成績証明書(博士前期課程)	博士前期課程の成績証明書。
(6)選考料支払確認書類	33,000円(クレジットカード支払い) 支払い確認時に送付されるメールを印刷して、出願時に提出すること

※「推薦書」(F票)は、前期課程の指導教授と後期課程の希望指導教授が異なる場合に、前期課程の指導教授に作成を依頼して下さい。(提出については任意)

V-2 <入学試験制度> 博士後期課程：一般入学試験

1. 出願資格

- (1) 修士の学位を有する者、または 2021 年度大学院修士課程修了見込みの者。
- (2) 専門職学位を有する者、または 2021 年度専門職大学院修了見込みの者。
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
- (7) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。
- (9) 当該研究科委員会において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者。

※(4)から(9)の資格により出願を希望する者について

- ①出願時に資格審査を行います。
- ②所定の出願書類に加えて「出願資格認定申請書」(G票)、「出願資格認定申請理由書」(H票)を提出して下さい。

2. 日程一覧

試験日	2022年2月11日(金)
出願期間	2021年11月22日(月)～2021年12月22日(水)
合格発表	2022年2月18日(金) 11:00
手続期間	2022年2月23日(水)～3月2日(水)

3. 出願書類・検定料

※本学所定の出願書類については、文系大学院ホームページ「入試情報」→「出願書類」からプリントアウトすること。

(1) 入学願書	本学所定の用紙（A票①②・B票）を使用すること。	
(2) 成績証明書	出身大学の成績証明書。	
(3) 修了（見込）証明書（博士前期／修士課程）	博士前期／修士課程の修了（見込）証明書。	
(4) 成績証明書（博士前期／修士課程）	博士前期／修士課程の成績証明書。	
(5) 修士論文等 （1部）	修士論文又はリサーチペーパー	修士課程修了（見込）の者。（本学大学院修了の者は除く）
	志望科目に関わるレポート （7,000字以上）	法科大学院修了（見込）の者。
(6) 修士論文等の要旨	4,000字以内。（社会学専攻、教育学専攻、人文学専攻出願者は日本語で書いたものを提出すること。）	
(7) 推薦書（任意提出）	本学所定の用紙（F票）を使用すること。 出身大学院の指導教授が作成したもの （厳封して下さい）	
(8) 受験承諾書（様式は任意）	所属長が作成したもの。（在職者のみ）	
(9) 選考料支払確認書類	33,000円（クレジットカード支払い） 確認時に送付されるメールを印刷して、出願時に提出すること。	

※ 出願書類の提出までに修士論文の作成が終了していない場合は、学事部学事第2課大学院係まで連絡をして下さい。

VI 入学試験 【共通事項】 博士後期課程

1. 選考試験科目・時間帯

【進学選考試験・一般入学試験共通】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
—	外国語	—	英語（辞書使用不可）	11：00～ 12：00
	口頭試問	—	（専門科目を中心として）	13：00～

Ⅶ 博士後期課程 [カリキュラム表]

【教育学研究科教育学専攻】（博士後期課程）

分類	部門	科目名	科目ナンバリング	単位	履修年次						修了要件	備考
					D 1 春	D 1 秋	D 2 春	D 2 秋	D 3 春	D 3 秋		
必修科目		研究特別指導	HEED701	2	○						1 科目 2 単位	
選択必修科目	研究指導科目	教育学特殊研究指導 I	HEED702	2	○						6 科目 1 2 単位	
		教育学特殊研究指導 II	HEED703	2		○						
		教育学特殊研究指導 III	HEED704	2			○					
		教育学特殊研究指導 IV	HEED705	2				○				
		教育学特殊研究指導 V	HEED706	2					○			
		教育学特殊研究指導 VI	HEED707	2						○		
		教育方法学特殊研究指導 I	HEED708	2	○							
		教育方法学特殊研究指導 II	HEED709	2		○						
		教育方法学特殊研究指導 III	HEED710	2			○					
		教育方法学特殊研究指導 IV	HEED711	2				○				
		教育方法学特殊研究指導 V	HEED712	2					○			
		教育方法学特殊研究指導 VI	HEED713	2						○		
		教育心理学特殊研究指導 I	HEED714	2	○							
		教育心理学特殊研究指導 II	HEED715	2		○						
		教育心理学特殊研究指導 III	HEED716	2			○					
		教育心理学特殊研究指導 IV	HEED717	2				○				
		教育心理学特殊研究指導 V	HEED718	2					○			
		教育心理学特殊研究指導 VI	HEED719	2						○		
		臨床心理学特殊研究指導 I	HEED720	2	○							
		臨床心理学特殊研究指導 II	HEED721	2		○						
		臨床心理学特殊研究指導 III	HEED722	2			○					
		臨床心理学特殊研究指導 IV	HEED723	2				○				
		臨床心理学特殊研究指導 V	HEED724	2					○			
		臨床心理学特殊研究指導 VI	HEED725	2						○		
		教科教育学特殊研究指導 I	HEED726	2	○							
		教科教育学特殊研究指導 II	HEED727	2		○						
		教科教育学特殊研究指導 III	HEED728	2			○					
		教科教育学特殊研究指導 IV	HEED729	2				○				
		教科教育学特殊研究指導 V	HEED730	2					○			
教科教育学特殊研究指導 VI	HEED731	2						○				
学習教授法特殊研究指導 I	HEED732	2	○									
学習教授法特殊研究指導 II	HEED733	2		○								
学習教授法特殊研究指導 III	HEED734	2			○							
学習教授法特殊研究指導 IV	HEED735	2				○						
学習教授法特殊研究指導 V	HEED736	2					○					
学習教授法特殊研究指導 VI	HEED737	2						○				
学校心理学特殊研究指導 I	HEED738	2	○									
学校心理学特殊研究指導 II	HEED739	2		○								
学校心理学特殊研究指導 III	HEED740	2			○							
学校心理学特殊研究指導 IV	HEED741	2				○						
学校心理学特殊研究指導 V	HEED742	2					○					
学校心理学特殊研究指導 VI	HEED743	2						○				
精神分析学特殊研究指導 I	HEED744	2	○									
精神分析学特殊研究指導 II	HEED745	2		○								
精神分析学特殊研究指導 III	HEED746	2			○							
精神分析学特殊研究指導 IV	HEED747	2				○						
精神分析学特殊研究指導 V	HEED748	2					○					
精神分析学特殊研究指導 VI	HEED749	2						○				

※修了要件：「研究共通科目 1 科目 2 単位」「研究指導科目 6 科目 1 2 単位」合計 7 科目 1 4 単位

VIII. その他

1. 奨学金制度

* 日本学生支援機構

《出願資格》

人物・学業成績ともに特に優れ、かつ健康であって、大学院において研究を継続するには、日本学生支援機構の奨学金の貸与が必要であると認められる者に限ります。

なお、標準（最短）修業年限を超えて在学する者及び留学生は出願資格がありません。

《奨学金の概要》

種 類		貸与月額	貸与始期	貸与期間
博士前期／ 修士課程	第一種 (無利子)	50,000 円、88,000 円	4 月	2 年間
	第二種 (有利子)	5 万・8 万・10 万・13 万・15 万から選択		
博士後期課程	第一種 (無利子)	80,000 円、122,000 円	4 月	3 年間
	第二種 (有利子)	5 万・8 万・10 万・13 万・15 万から選択		

(2020 年度参考)

2. 創価大学牧口記念教育基金会大学院生奨学金【給付型】

本学の文系・理系大学院が、建学の精神に立脚した優れた研究者と高度専門職業人等の輩出によって人類社会により一層貢献することを目的に、本学大学院生で、人物、学業成績ともに優秀であると認められる者に奨学金が給付される。

《出願資格》

人物、学業成績ともに優秀で、本学大学院博士課程または修士課程に所属する大学院生とする。（学内の他の給付奨学金採用者は、対象から除く）

《給付額》

奨学金の給付は入学時 1 回限りとし、春セメスターに 20 万円を一括給付する。

《給付額》

当該年度春セメスターの入学生と、前年度秋セメスターの入学生のなかで、入試成績が優秀であったものを、研究科・専攻・課程別の採用数に従って選考する。



インターネットによる合否確認について

創価大学学事部文系大学院係

合格発表は、パソコン・スマートフォンにより 合否案内を行います。

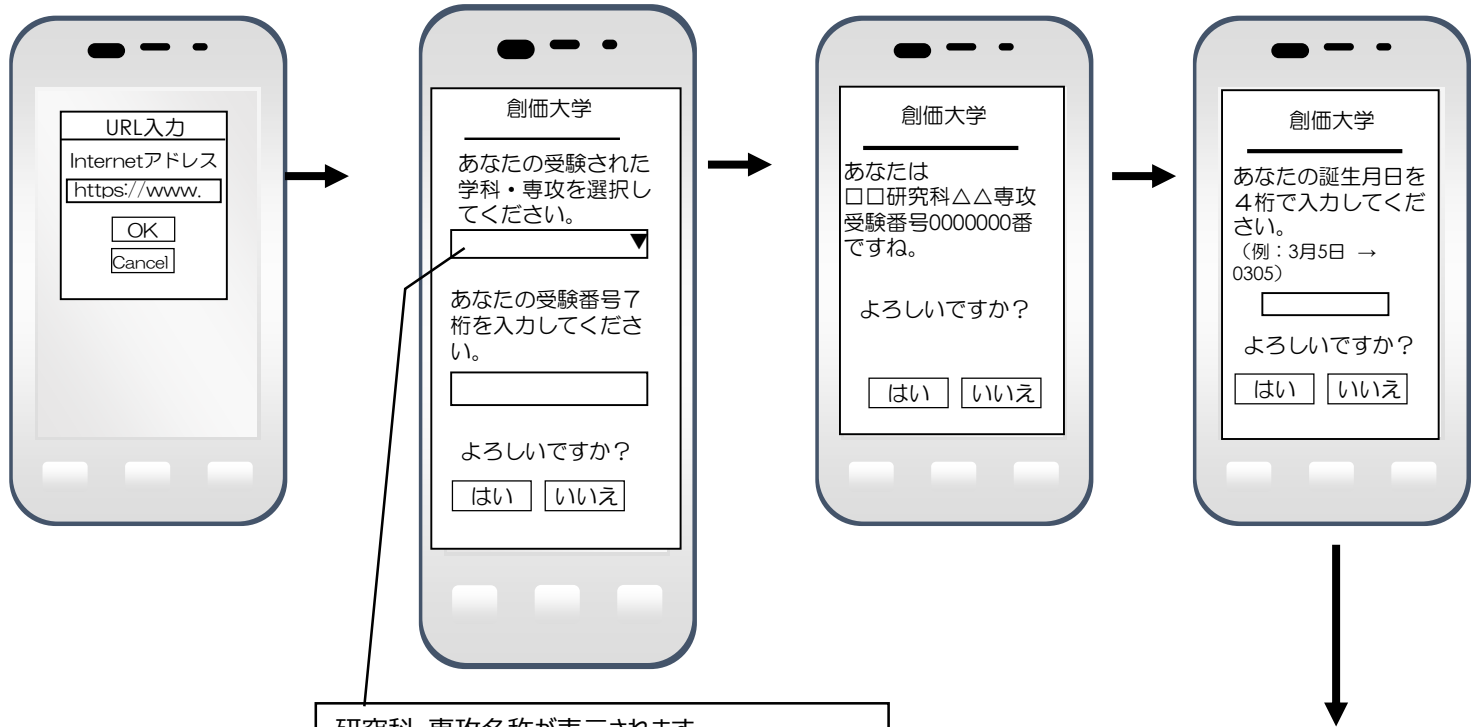
【合格案内の時間帯】

- 各入試の合格発表日の午前11時から3日間は、いつでも確認できます。ただし、それ以降は確認できませんのでご注意ください。
- また、サービス開始直後は、回線が込み合うことが予想されます。
- つながりにくい場合は、時間をおいてかけ直してください。



合否確認用インターネットアドレス (PC・スマホ共通URL)

<https://www.gouhi.com/soka/>

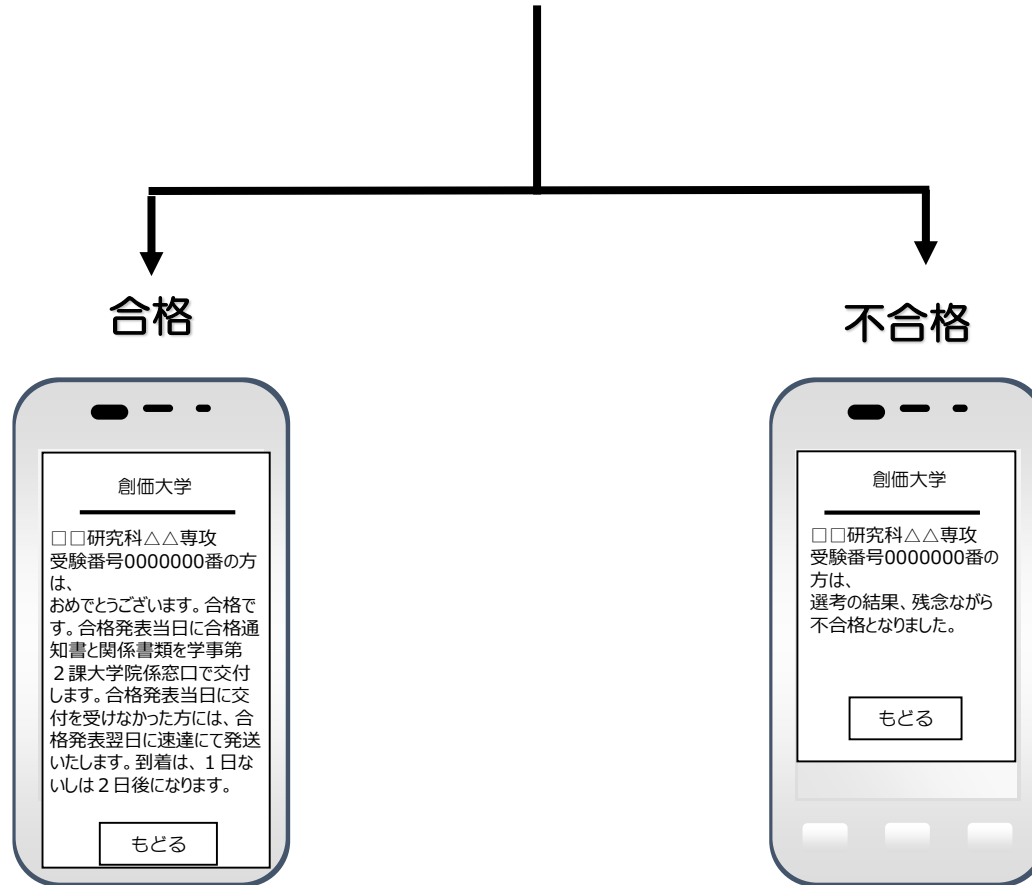


研究科・専攻名称が表示されます。

- 例)
- 経済学研究科 経済学専攻
 - 法学研究科 法律学専攻
 - 文学研究科 英文学専攻
 - 文学研究科 社会学専攻
 - 文学研究科 教育学専攻
 - 文学研究科 人文学専攻
 - 文学研究科 国際言語教育専攻
 - 国際平和学研究科 国際平和学専攻

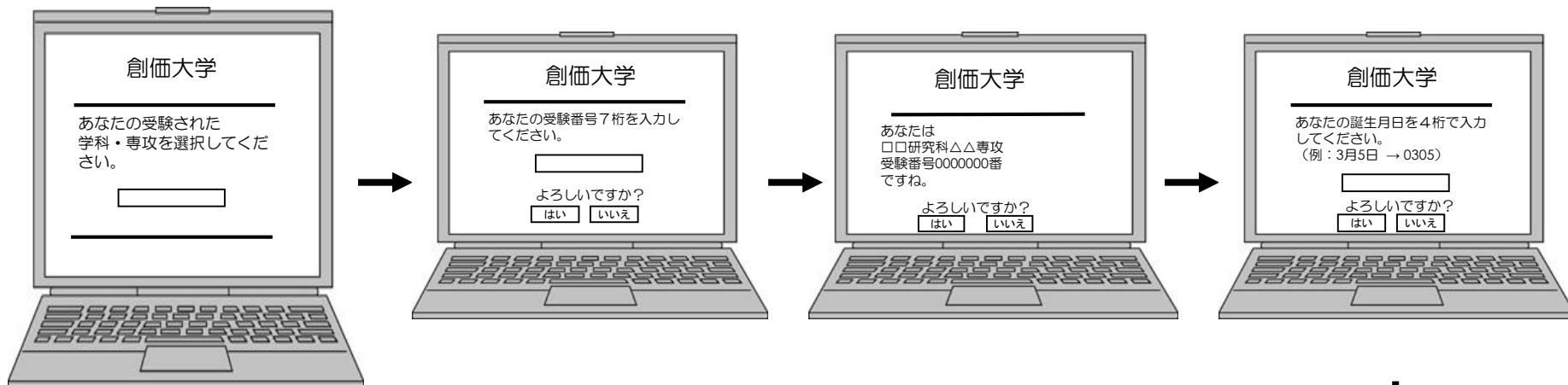
結果画面は次ページ

スマートフォン画面イメージ



合否確認用インターネットアドレス（PC・スマホ共通URL）

<https://www.gouhi.com/soka/>



結果画面は次ページ

